

株式に関するメモ

事業年度	3月1日～翌2月末日
配当金基準日	期末配当 2月末日 中間配当 8月31日
定時株主総会	5月
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 【TEL】 0120-232-711 (通話料無料) 【郵送先】 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、福岡証券取引所
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.mrmax.co.jp/ ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

株式事務手続きについて

住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求その他のお問い合わせ先は、次のとおりとなっております。

■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
お取引のある証券会社等へお問い合わせください。

■特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
三菱UFJ信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) へお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

※未払い配当金について
未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行株式会社へお問い合わせください。



本紙は適切に管理された森林 (FSC® 認証林) およびその他の管理された供給源からの原材料で作られた「FSC® 認証紙」を使用しています。



このパンフレットを印刷・製本する際の電力 (300kWh) は、グリーン電力 (自然エネルギー) でまかなわれています。自然エネルギーによる発電は、発電するときCO₂を発生せず、また化石燃料による発電と異なり再生可能であるため、環境への負荷が小さいエネルギーです。



植物油インキは、生分解性があり、環境負荷が高い有機溶剤の排出量も少なく、環境に優しい原材料を使用しています。



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザイン文字を採用しています。



株式会社ミスターマックス ホールディングス
証券コード 8203



株主のみなさまへ

第73期 株主通信

2021年3月1日～2022年2月28日

価値ある安さ

Guest First
お客様に満足していただくために。

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年2月28日をもって、第73期(2021年3月1日から2022年2月28日まで)が終了いたしましたので、ここに当期の事業の概況等をご報告申し上げます。



代表取締役社長 平野 能章

第73期の業績について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う外出自粛が続いたことに加え、原油、原材料の高騰など、企業活動の停滞や個人の消費マインドが冷え込む厳しい状況が続きました。

このような環境において、当社グループでは普段の暮らしを支える社会インフラとしての役割を果たすべく、総合ディスカウントストアの強みである生活必需品を中心とした幅広い品揃えと低価格で、お客様の暮らしを応援してまいりました。一か所で短時間に買い物ができる「ワンストップショッピング」を実現するため、お客様の生活スタイルの変化に合わせた品揃えの拡大や買い物しやすい商品のレイアウトなど、便

利な買物環境の強化にも取り組んでまいりました。また、お客様、従業員の安全・安心を最優先し、店内設備の定期的な消毒に加え、就業前の体温チェックや体調報告など感染拡大の予防を継続しております。

当期は、いつ来ても安い「エブリデイ・ロープライス(EDLP)」というディスカウントストアの実現にチャレンジいたしました。2021年3月からは5千品目の値下げ、月1回のクレジットカード会員向けの割引セール廃止に加え、アプリやSNSを使った販売促進活動にも注力し、EDLP強化に努めてまいりました。

売上高は、コロナによる需要の一巡から、当連結会計年度

における既存店売上高の前年同期比は6.1%減少し、93.9%となりました。また、荒利益率は前年から0.3%減少し22.3%となりましたが、原材料や輸送コストの上昇が続く中、コロナ禍前の一昨年度実績21.3%を1%上回りました。過度なセール企画やカード会員限定割引を見直し、荒利益率の水準は向上しました。

商品部門別には、家電やアパレルが苦戦した一方、外出自粛の生活が続いたことを反映し、ペット用品、園芸用品が伸長したライフスタイル部門、菓子や酒、調味料などを中心に食品部門が堅調でした。また、外出の機会も徐々に増えてきたことで、不織布マスクやオーラルケア用品が伸長し、HBC部門も底堅く推移しました。

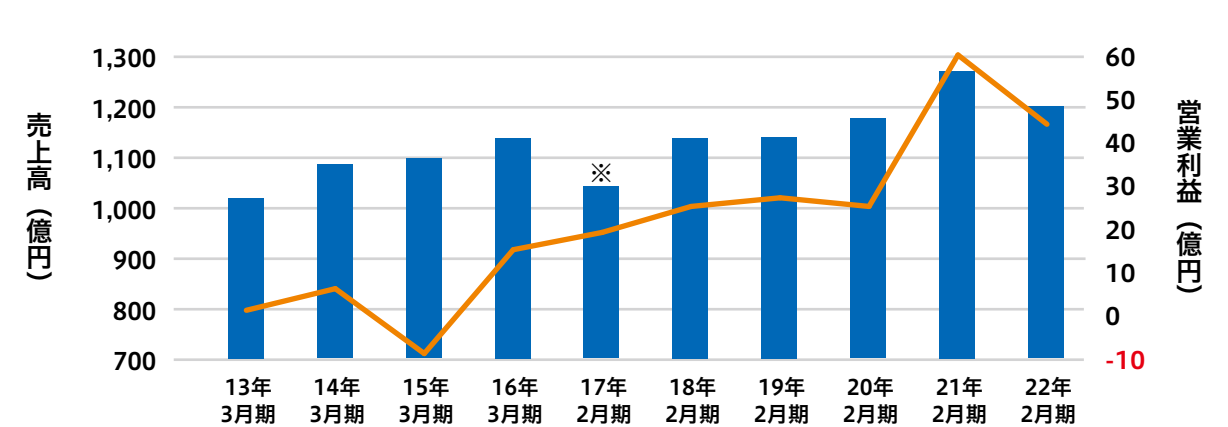
店舗展開につきましては、2021年12月に「ミスターマックス糸島店」をオープンいたしました。開店以来、計画を上回るペースで売上が推移しております。この出店に伴い、2022年2月末において58店舗を展開しております。

店舗戦略においては、既存店改装を行い、店舗の利益率改善を進めてまいりました。

これらの結果、全店売上高は、前年同期比94.5%となり、当連結会計年度の営業収益(売上高+不動産賃貸収入+その他の営業収入)は1,248億31百万円(前期比94.7%)となりました。

一方、コスト面においては、店舗における人時数をコントロールできたことやクレジットカード決済手数料が減少するなど販売手数料が減少した結果、販売費及び一般管理費は、271億81百万円(前期比98.5%)となりました。営業利益は44億87百万円(前期比74.6%)、経常利益は43億46百万円(前期比75.6%)、親会社株主に帰属する当期純利益は、28億53百万円(前期比80.5%)と減益になりましたが、一昨年に比べ、荒利益率が改善したことに加え、コスト削減を徹底した結果、営業利益の一昨年は約1.8倍、経常利益は同1.9倍となり収支構造改革が進みました。

2013年3月期以降の売上高と営業利益の推移



※2017年2月期は決算期変更に伴い11ヵ月決算

第74期の取り組み

EDLPの再徹底 〈価値ある安さの追求〉

値上げ基調が強まる中、お客様の暮らしを応援するための低価格企画を強化しています。



<PB価格凍結>
PB商品1,000品目の価格を据え置く企画を、2022年3月10日～5月末まで実施。

併せて、商品の陳列方法を改善することで、買い上げ点数の向上および作業頻度の削減へと繋がっています。EDLPを支えるEDLC（エブリデイローコスト）を構築することで、総合DSの確立を図っていきます。

また、会員数が100万人を突破したMrMaxアプリは、重要な広告媒体の一つになっています。アプリを活用した販促施策をさらに強化することで、より多くのお客様に情報を届け、来店を促し、店舗の活性化に繋がっていきます。

PB商品の拡大 〈売上高構成比 20.0%へ〉

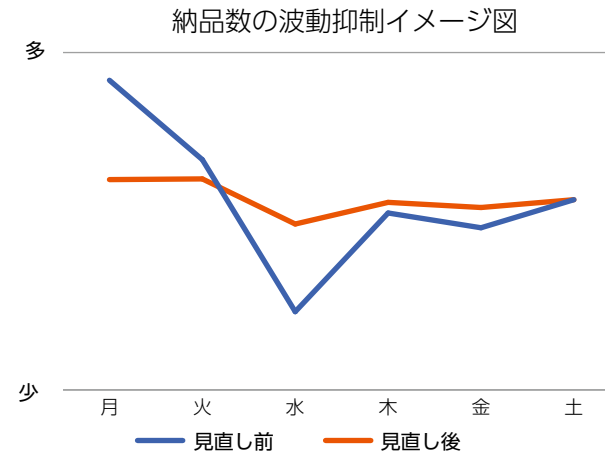
PB商品の拡大は、EDLPを支えるとともに、利益率の向上、他社との差別化のための重要な施策です。

売上高に占めるPB商品の割合を、第74期は20%、第75期は30%を目標に、新商品を毎月リリースさせています。PB構成比率の高いアパレルやインテリアなどに限定せず、すべての部門において開発を進めていきます。



生産性の向上 〈店舗作業の効率化〉

ローコストオペレーションに向け、店舗作業の平準化を進めています。



曜日ごとの納品数量の波動を抑えることで、店舗作業における曜日ごとのばらつきを減らします。週を通して一定化することで、生産性の向上に繋がっていきます。

また、店舗ごとのマネジメントのばらつきも減らしていきます。店舗責任者のマネジメント力の向上と既存店の底上げを図っていきます。

既存店を強化する投資 〈改装とEC・アプリの強化〉



既存店のバリューアップと新規顧客の創出

既存店を改装することで、集客力の向上および設備の刷新によるコスト削減効果で「稼ぐ力」を向上させます(14店舗を予定)。

また、ECの再構築を重要な投資の一つと位置付け、ECとアプリおよび店舗を融合した新たなサービスの提供を目指しています。

トピックス

サステナビリティに関する取り組み

2021年12月にサステナビリティ基本方針を決議し、2022年2月にはサステナビリティ委員会の設置と、当社グループが優先的に取り組む課題(マテリアリティ)の特定を行いました。

■サステナビリティ基本方針

私たちミスターマックス・ホールディングスは、お客様の「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」という経営理念のもと、地域社会のインフラとして、ステークホルダーの皆様とともにサステナブルな社会の実現に向けて行動します。そのために、公正な経営や事業運営を活動的に行い企業価値の向上を目指します。

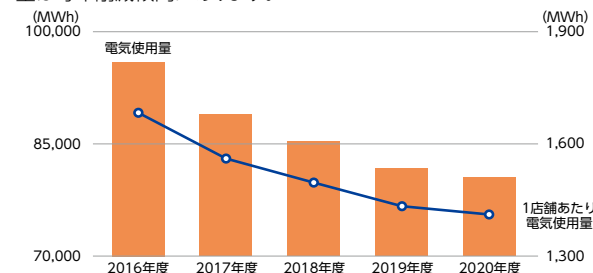
■7つの重要課題(マテリアリティ)

テーマ	2030年の ありたい姿	重要課題 (マテリアリティ)	関連するSDGs
商品の提供を通じた社会価値創出	サステナブルな商品の開発と仕入、循環型社会実現に向けた取り組みを通じて、お客様と地球環境に対する価値を創出する	エコロジーとエコノミーの提供 商品開発を通じた価値ある安さの追求	12 持続可能な消費と生産 13 気候変動 17 パートナーシップ 1 貧困 3 健全な成長 10 公平な社会 12 持続可能な消費と生産
持続可能なサプライチェーンの構築	お客様やビジネスパートナーとともに、地域社会に欠かせない社会インフラとして、サステナブルな地域社会や脱炭素社会の実現へ貢献する	地域社会のインフラとしての価値提供 サプライチェーン全体の最適化	3 健全な成長 9 産業、中小企業とイノベーション 7 持続可能なエネルギー 11 持続可能な都市とコミュニティ 3 健全な成長 9 産業、中小企業とイノベーション 13 気候変動 17 パートナーシップ
持続的成長を支える経営基盤の確立	すべてのステークホルダーに対して公正な経営と事業運営が行われる企業風土と、だれにとっても働きやすく自己実現の機会を持つことのできる環境を確立し、お客様や社会により大きな社会価値を創出するための前提となる持続的な成長を実現する	コンプライアンスと企業倫理の向上 人材のキャリアと成長への貢献 働きやすさの追求と多様性の尊重	4 公正な社会 12 持続可能な消費と生産 4 公正な社会 8 働きがいと経済成長 3 健全な成長 5 性別平等 8 働きがいと経済成長 10 公平な社会

■サステナブルな取り組みの一例

【環境への取り組み】

グループ内の電気使用量の削減に取り組んでいます。照明のLED化や空調設備自動制御システムの導入を進め、グループ全体の電気使用量は毎年削減傾向にあります。



【社会への取り組み】

ミスターマックス店舗では2010年より「レスキューTシャツプロジェクト」を展開し、九州アートディレクターズクラブとの協業によりTシャツの売上の一部を寄付する活動を続けています。

寄付総額は約6千万円にのぼり、被災地の義援金や国連WFPなどへの支援金として寄付をしています。

今年も3月10日から8月31日まで、全36種を販売し、売上の15%を日本赤十字社の活動に寄付いたします。



【ガバナンスへの取り組み】

当社の企業理念を追求し、企業価値を高めるために、コーポレート・ガバナンスの強化が重要な経営課題であると認識しています。現行の経営管理組織を一層充実、強化することにより、激変する経営環境に迅速かつ的確に対応するとともに、効率性、健全性、透明性を重視した経営を進めてまいります。そのために、経営陣に必要なトレーニングが受けられる体制整備のほか、次世代の経営執行を担う人材育成を目的とした後継者育成計画の策定・運用を行っています。

アプリについて

2017年にサービスを開始したMrMaxアプリは、2021年9月に会員数100万人を突破しました。アプリ会員様限定のクーポンやキャンペーン、チラシ閲覧機能や抽選予約機能などを備え、折込チラシに代わるデジタル販促ツールの活用に取り組んでいます。

その中で、2022年1月にはアプリ分析プラットフォームを運営する企業が主催するアワードにおいて、5万以上のアプリの中から「2021年、最も成長したアプリBest100」に選出されました。効果的なキャンペーンの発信により月間利用ユーザー数が伸びたこと、ヘビーユーザー増加率が著しいことが選出理由となっています。

アプリ開発担当者の声

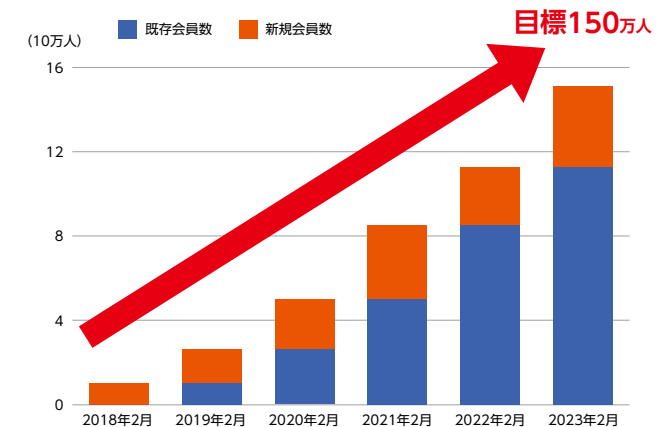
販売促進課係長 青野 久枝

お客様にとって魅力を感じていただけるようなクーポンやキャンペーンの企画に努めています。今後は、蓄積した顧客データを分析し、お客様ごとに合わせたクーポンを配信するなど、来店・客単価増につながる取り組みや、ECサイトとの連携によるオムニチャネル化を進めていく予定です。今後も多くのお客様にご登録いただき、かつご利用いただけるような施策を立案していきたいです。



■アプリの効果

ミスターマックスアプリ会員数

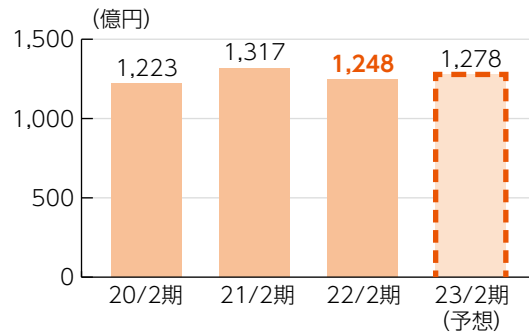


アプリ会員の買い上げ点数は、非会員に比べて約1.5倍と非常に高く、アプリがストアロイヤルティの向上に大きく貢献しています。

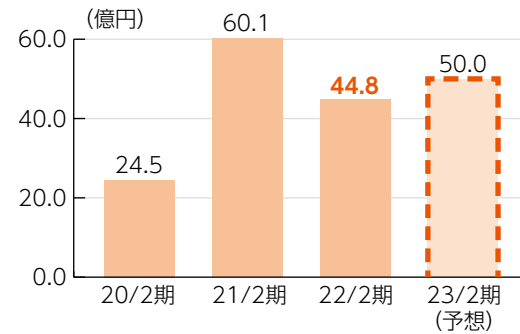
2023年2月末にはアプリ会員数150万人を目標に、より多くのお客様にロイヤルカスタマーとなっていただけるよう、取り組みを進めています。

業績ハイライト

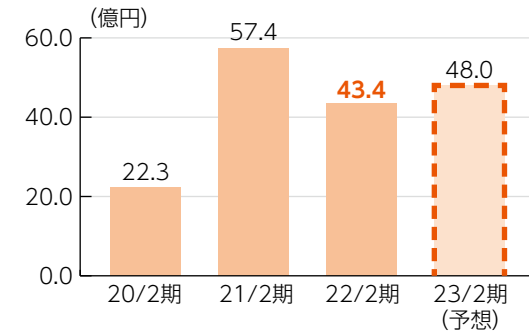
営業収益



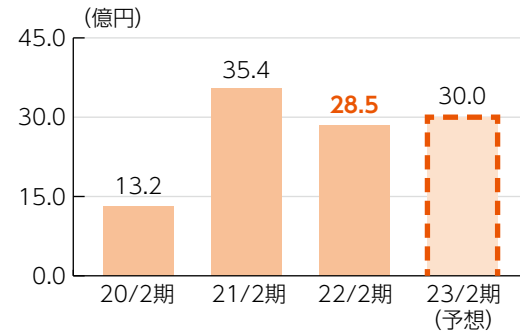
営業利益



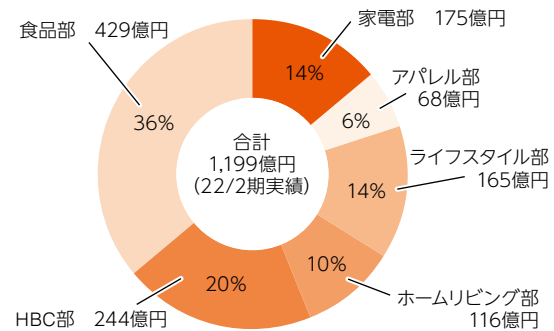
経常利益



純利益



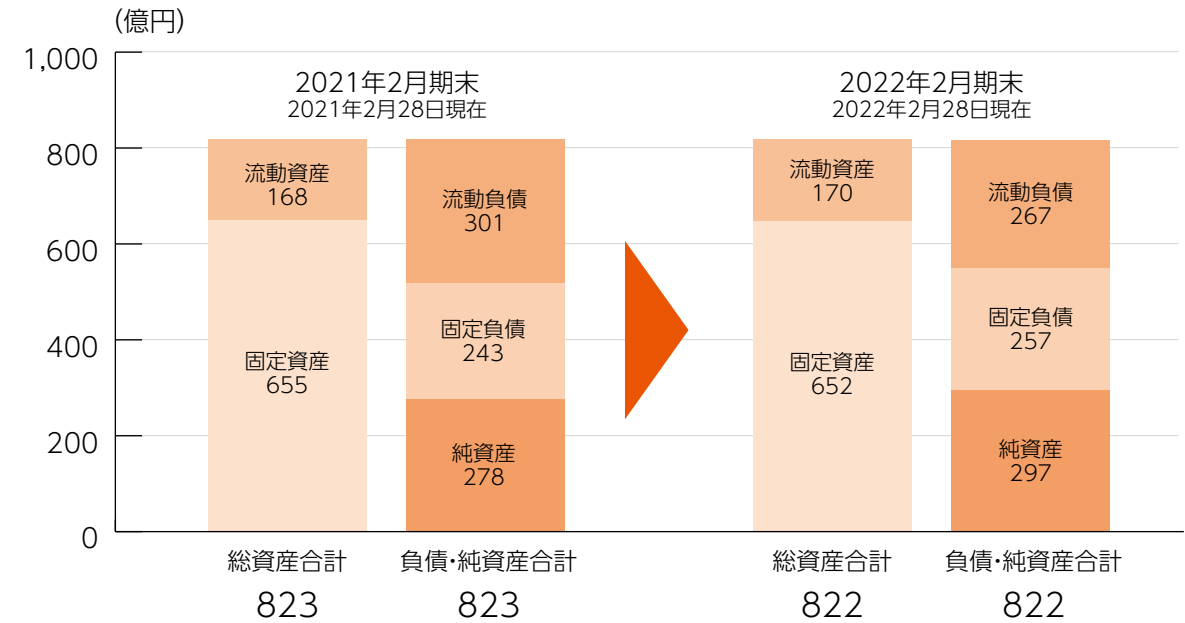
商品部門別売上高



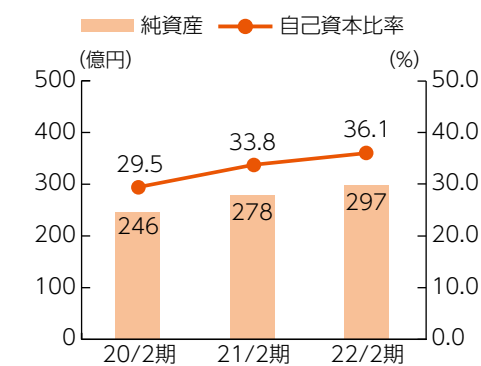
(取扱商品)

家電部	家電
アパレル部	衣料、シューズ、服飾雑貨、時計
ライフスタイル部	ペット用品、文具、玩具、自転車、スポーツ用品、カー用品、園芸・DIY
ホームリビング部	台所用品、日用雑貨、インテリア・収納
HBC部	紙綿、洗剤・化粧品、医薬品
食品部	食品

貸借対照表

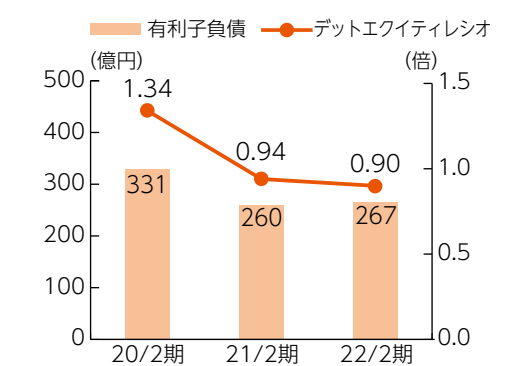


純資産・自己資本比率



自己資本比率=自己資本(純資産)/総資産×100

有利子負債・デットエクイティレシオ



デットエクイティレシオ=有利子負債/純資産
※有利子負債は、リース負債を含む

会社概要(2022年2月28日現在)

- 社名 株式会社ミスターマックス・ホールディングス
- 創業 1925年10月
- 設立 1950年12月
- 資本金 10,229百万円
- 従業員数 727名
- 上場 東証1部・福証(証券コード8203)
- 本部所在地 〒812-0064
福岡市東区松田一丁目5番7号
電話 092-623-1111(代表)
<https://www.mrmax.co.jp/>
- グループ会社 株式会社ミスターマックス
上海最高先生商貿有限公司

株式の状況(2022年2月28日現在)

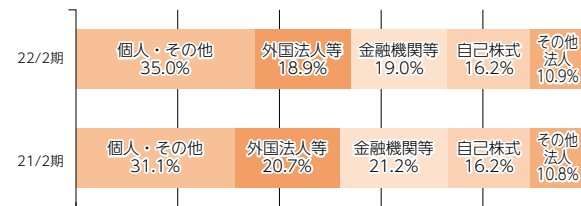
- 会社が発行する株式の総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 39,611,134株
(注) 当期中の増減はありません。
- 1単元の株式の数 100株
- 株主数 14,936名
- 大株主の状況(自己株式6,418千株を除く・千株未満切捨)

株主名					単位:千株
					持株数
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT					6,435
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)					2,782
有限会社 Waiz Holdings					2,578
ミスターマックス取引先持株会社					2,507
株式会社福岡銀行					1,414
MrMaxHD社員持株会					1,160
平野能章					1,075
平野淳子					701
株式会社日本カストディ銀行					642
株式会社西日本シティ銀行					510

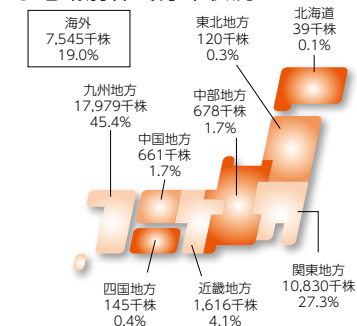
役員の状況(2022年2月28日現在)

役名	氏名	職名
代表取締役社長	平野能章	最高経営責任者兼最高執行責任者
取締役執行役員	小田康德	管理部門管掌
取締役執行役員	吉田康彦	社長室兼経営企画室長兼デジタル戦略室長
取締役執行役員	石井宏和	財務部門管掌兼新規事業開発室長
取締役執行役員	角俊治	開発部門管掌
取締役執行役員	鳥越寛	リテール部門管掌
社外取締役	冢永由佳里	
社外取締役	西村豊	
社外取締役	内藤達次郎	
常勤監査役	石田富英雄	
常勤監査役	宮崎隆	
監査役	工藤雅春	
監査役	佐田洋平	

●所有者別株式数比率



●地域別株式分布状況



株主還元について

●配当金の推移

	第71期 2020年2月期	第72期 2021年2月期	第73期 2022年2月期	第74期 2023年2月期
第2四半期末	—	—	—	—
期末	14円	31円	27円	27円(予想)
年間	14円	31円	27円	27円(予想)
配当性向	35.2%	29.0%	31.4%	29.9%(予想)

●株主総会オンデマンド配信のご案内

2022年5月26日(木)開催の第73回定時株主総会について、総会の様子を動画でご覧いただけるオンデマンド配信を実施いたします。

株主総会にお越しいただけなかった株主様や、当日のリアルタイム配信を見逃された株主様も、ご出席いただいた方と同様に議事の進行状況をご覧いただけます。



※画像はイメージです。

【動画配信予定】 2022年6月中旬ごろ

【動画配信場所】 当社ホームページ

IR情報「株主総会」

https://www.mrmax.co.jp/corporation/ir/stockholder_meeting/

